

昇段審査確認事項

◇本審査に臨む前に必ず仮昇段審査を実施する

仮昇段審査では原則としてトル、約束組手、マッソギ、試割り等、課題内容をすべて行う。

◇1段受審 護身術について

左手で相手の右手側、または部位を掴む。

相手が受審者ではない場合は、受審者のみ行う。

手首→肘→肩→襟→帯→首→頭の順序で行う。

◇拳立て 回数について

小学生：30回

中学男子：30回

中学女子・高校女子・成年女子・ベテラン女子：30回

高校生・成年男子：50回

ベテラン男子：30回

◇使用する板について

(威力)

小学・中学生（小1～中3 男女） 6分板

高校生・成年部 男子8分板・女子6分板

ベテラン（40～49才）男女 6分板 ※50才以上は威力の審査はなし

(特技)

特技は全て6分板を1枚で行う。

ベテランクラスは特技をしない。

◇ティミョチャギ（特技）の高さについて

原則として頭頂部に板の中心を合わせる。

※3段受審課題、ティミョノピチャギは手を上に上げた高さに合わせる。

◇ベテラン（50才以上）について

ベテラン（50才以上）は試割りはなし、マッソギは基本的にしない。

◇審査保留について

課題内容を正確に完了できない、試割（3種類）の内、2種類が割れない場合は昇段保留となる。

保留の場合は後日再審査する。

(試割りの可否について)

・成功：種目ごとの規定の枚数がすべて割れた場合

・失敗：一部の枚数が割れる、ヒビが入った場合など。